

令和8年6月11日

入所者・ご家族様

医療法人社団 佑樹会
介護老人保健施設 めぐみの里
施設長 岸 達雄

施設内での「疥癬（かいせん）」発生に関する報告とお願いについて

平素は当施設の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、当施設に入所されておりますご利用者様にヒゼンダニの寄生による皮膚感染症である「疥癬（かいせん）」の発生が確認されました。

ご家族の皆様には、多大なるご心配とご迷惑をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。現在、施設を挙げて感染拡大防止に全力で取り組んでおりますので、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1、発生状況について

令和8年6月5日、本館2階フロアにおいて、ご入所者様1名に疥癬特有の症状が確認され、医師の診察の結果、疥癬と診断されました。その後、接触のあった他のご入所者様の観察を順次実施し、現在は入所者様3名の感染が確認されております。

2、施設の対応・対策について

- ・皮膚状態の観察を強化し、日常と比較して変化があった方に関しては順次皮膚科受診を行い、早期発見・早期治療に努めております。
- ・入浴頻度を増やして対応し、シーツや衣類の適切な洗濯・交換を行うなどの清潔の保持や殺虫剤の活用などで環境を保つように努めております。
- ・診断を受けた方には、速やかに内服薬と塗り薬による治療を開始しております。

疥癬は、身体の接触や感染者が使用した寝具や衣類を介してうつる感染症です。自然治癒することが非常に少ない疾患ですが、正しい塗り薬や飲み薬でしっかり治療をすれば完治します。

引き続き、安全なケアの提供に努めて参りますので、何卒ご理解の程を宜しくお願い申し上げます。

以上